

研究課題番号	1-2002
研究課題名	社会と消費行動の変化がわが国の脱炭素社会の実現に及ぼす影響
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	金森 有子

1. 委員の指摘及び提言概要

AIMをはじめとした、これまでに蓄積したデータとモデルを駆使して、我が国の脱炭素化に伴うエネルギー利用と社会の消費行動に関する総合的な将来分析とシナリオ開発を行い、学術面と実用面の両側面からみて現実感のある解析結果が発出された。行政においても成果が活用されている。開発されたシナリオ実現のためには短期間で急速なエネルギーインフラのリプレイスを行う必要があり、そのための機器やシステムのサプライヤー産業を急いで育てる等が必要である。そのためのタイムラグも要検討であろう。本研究の興味深いポイントの一つは、ICTの普及がもたらす行動変容によるエネルギー需要減少・CO₂排出削減であるが、ロジックと前提をきちんと説明した定量評価が重要であり、それを行うことで今後の様々な研究にも貢献すると思われる。

2. 採点結果

評価ランク：A